道徳学習指導案

対象 第１学年

１　主題名　　よりよい社会の実現　　４－（２）

２　資料名　　「目指せ傘盗難ゼロ！越路中の挑戦」

（第55回“社会を明るくする運動”作文コンテスト法務大臣賞（最優秀賞）中学生の部）

３　主題設定の理由

（１）ねらいとする道徳的価値について

学校では毎年必ず「傘の盗難」という「事件」が起こる。「自分の物は自分で管理しなさい」などと指導してきたが傘の盗難はなくせない。「何とかしないと」という強い思いから授業化した。

授業は次のようなことに重点を置いて進めることにした。

1. 実物の傘を提示して、傘の盗難の被害に遭ったことはないか発表させる。
2. 資料を読み、傘の盗難は意識が変えればなくせることを理解させる。

（２）生徒の実態について

下校時に急に降り出した雨。こんなとき、よく他の人の傘をもち、それをさして下校してしまう生徒がいる。そして、傘が無くなったことを訴える生徒が職員室へ来る。こういう光景は全国でよく見られるものである。「たかが傘の盗難」と決めつけないで、この日常的になりつつある行為に潜む「悪」を実感して、さらに、ある中学校で実際に取り組んだ「傘の盗難ゼロ」への挑戦を読むことで意識の変化を求め、学校や社会で守るべき公徳心を高めたい。

（３）資料について

第55回“社会を明るくする運動”作文コンテスト法務大臣賞（最優秀賞）を受賞した「目指せ傘盗難ゼロ！越路中の挑戦」が毎日新聞の2006年8月25日付朝刊社説に紹介された。実在の中学校で、頻発していた傘の盗難を激変させた報告である。生徒にとって身近な事例のため、あえて作文をそのまま資料として使うことにした。

４　本時の学習

（１）ねらい

　身近にある何気ない「悪」に気づかない生徒に中学生の作文を通して公徳心を高める。

（２）指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動と○主な発問 | ・予想される生徒の反応 | ●教師の働きかけ　○指導上の留意点 |
| 導入 | １　傘を１本用意する  ○今日はこれについて考えます。  傘の何について考えるのでしょう。 | ・何だろう？  ・傘が盗まれることかな？ | ○傘が盗まれることに注目させる。 |
| 展開 | 資料１を配布して、朗読する。  ２　資料１を読んで次のことに　ついて語り合う  ・傘の盗難をめぐる様々な意見についてどう考えるか？  ３　資料２、３を読んで次のことについて語り合う  ・「傘盗難」をなくすことができたのはなぜだろうか？  ・このことについてどう考えますか？ | ・作者はこのことを何とかしなくてはいけないと考えた。  ・多くの人に呼びかけ、みんなが協力してくれたから。  ・本当にうまくいくのかな？ | ●資料１を朗読する（Ｔ１）  ●資料２、３を朗読する（Ｔ１）  ●発問内容や生徒の意見を板書する　（Ｔ２）  ○お金や物で解決する方法では抜本　的な解決にはならないを示した　　い。 |
| 終末 | ４　今日の授業を通して学んだり、考えたりしたことを書き、発表する。 |  | ●ワークシートに記入させ、数人の生徒に発表させる。（Ｔ１）  ○本時を振り返り考えを深めさせる。 |

（３）評価の観点

身近で起こる傘の盗難を通して学校や社会で守るべき公徳心を高めることができたか。

（４）板書計画

傘の盗難

傘の盗難をめぐる様々な意見についてどう考えるか？

・作者はこのことを何とかしなくてはいけないと考えた。

「傘盗難」をなくすことができたのはなぜだろうか？

このことについてどう考えますか？

・多くの人に呼びかけ、みんなが協力してくれたから。

・本当にうまくいくのかな？

今日の授業を通して

★人の物を勝手に使わないという意識を強く持ちみんなで協力すればよりよい社会は実現できる